



東北大学



報道機関各位

平成25年3月4日
東北大学大学院医学系研究科

【国際シンポジウム開催のお知らせ】

「公衆衛生の復興に向けて」

宮城県の被災地での記録

東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム

東北大学大学院医学系研究科は「東日本大震災における公衆衛生の復興に関するレポート(英語・日本語)」を上梓するにあたり、宮城県、笹川平和財団と協力して「東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム」を開催いたします。東日本大震災が我々に突きつけた公衆衛生に関する様々な課題や教訓を皆様と共有し、近年災害が多発しているアジア諸国の公衆衛生の専門家も交えて、災害時における公衆衛生のあり方、災害後の公衆衛生の復興計画や実施、地域住民の健康を守る保健師等の役割、アジア地域における連携等についても議論を深めていきたいと考えています。

日時： 平成25年3月7日(木)–8日(金)
場所： 仙台国際センター
入場無料 (当日参加可能)

【要旨】および【プログラム】を次ページより添付いたします。
また、参加申し込みおよびプログラムについてはウェブページもご参照ください。
<http://www.ch-center.med.tohoku.ac.jp/symposium12w>

【本件に対する問い合わせ先】

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室
稲田 仁(いなだ ひとし)
電話番号： 022-717-7891
ファックス： 022-717-8187
Eメール： pr-office@med.tohoku.ac.jp

【要旨】

災害対策の中で「復興」は最も理解の遅れている分野です。災害発生後の急性期から復興期にかけて住民の健康や生活基盤を支える公衆衛生分野の果たすべき機能や、その復興のあり方については、系統立った記録や分析等は我が国ではほとんど行われてきておらず、また諸外国に対して震災の経験や教訓を積極的に発信し共有するというも行われてきませんでした。

こうした背景のもと、東北大学大学院医学系研究科は世界保健機関(WHO)西太平洋事務局と協定を結び、また笹川平和財団から協力を得ながら、宮城県石巻市、その中でも特に支援が必要とされた沿岸部の雄勝と牡鹿の2つの地区において、保健師を中心とした被災地の公衆衛生の活動、復興の過程を記録し、教訓をとりまとめてきました。

東日本大震災は過去に日本で発生した災害と比較しても、「公衆衛生」のニーズが大きく顕在化しました。阪神・淡路大震災のような、急性期の緊急医療が必要とされた人は比較的少数であり、むしろ震災直後から様々な公衆衛生上の課題(避難所における衛生環境の維持管理、感染症対策、慢性疾患対策、栄養問題、医療・心理的・社会的支援すべてを必要とする高齢者・障害者への対応等)が広範囲にわたって同時多発的に発生し、災害時の公衆衛生活動の重要性が改めて認識される機会となりました。

また、東日本大震災の公衆衛生の復興の過程を記録し、その教訓を国内だけでなく世界と共有することは、将来起こる可能性のある大規模な災害に備えるために重要なことです。このため、東北大学大学院医学系研究科では公衆衛生の復興の記録を、「東日本大震災における公衆衛生の復興活動： 宮城県の被災地での記録(Public Health Recovery after the Great East Japan Earthquake: Experiences in selected areas of Miyagi Prefecture)」という日本語と英語の報告書として刊行しました。また、これらの活動を映像として記録したDVDも作成しました。

このたび、東北大学大学院医学系研究科はこの報告書を上梓するにあたり、宮城県、笹川平和財団と協力して「東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム」を開催いたします。東日本大震災が我々に突きつけた公衆衛生に関する様々な課題や教訓を皆様と共有し、近年災害が多発しているアジア諸国の公衆衛生の専門家も交えて、災害時における公衆衛生のあり方、災害後の公衆衛生の復興計画や実施、地域住民の健康を守る保健師等の役割、アジア地域における連携等についても議論を深めていきたいと考えています。

【プログラム】

■ 1日目 (3月7日 (木))

- 9:00-9:30 開場・受付
9:30-9:45 開会の挨拶
大内憲明 (東北大学大学院医学系研究科)
佐々木淳 (宮城県)
Dr. Nevio Zagaria (WHO 西太平洋事務局)
茶野順子 (笹川平和財団)
- 9:45-10:30 基調講演「自然災害における公衆衛生の復興活動：原則と課題」
座長：大内憲明 (東北大学大学院医学系研究科)
Mr. Alex Ross (WHO Kobe Center)
- 10:50-11:10 WPRO からの報告「西太平洋地域における自然災害と保健衛生分野の復興」
座長：押谷仁 (東北大学大学院医学系研究科)
Dr. Nevio Zagariaa (WHO 西太平洋事務局)
- 11:10-12:20 公衆衛生復興に関する報告書の紹介
「大規模災害における公衆衛生と医療対応・東日本大震災の影響および公衆衛生の課題」
金谷泰宏 (国立保健医療科学院)
「東日本大震災における公衆衛生の復興活動：宮城県内地域での経験」
押谷仁 (東北大学大学院医学系研究科)
「公衆衛生の復興活動に関するビデオ上映」
平野かよ子 (東北大学大学院医学系研究科)
- 12:20-13:20 昼食
- 13:20-15:30 パネルディスカッション1「東日本大震災の経験」
座長：辻一郎 (東北大学大学院医学系研究科)
1. 東日本大震災における宮城県石巻保健所の公衆衛生対応
大久保久美子 (宮城県)
 2. 東日本大震災における石巻市の公衆衛生対応
沓澤はつ子 (石巻市)
 3. 東松島市の震災後の公衆衛生活動について
水野智美 (国立国際医療センター)
 4. 全国の自治体による東日本大震災被災地への保健医療福祉支援
坂元昇 (川崎市/全国衛生部長会)
 5. 東日本大震災における 東京都公衆衛生チームの支援活動
宮本健一 (杉並保健所/高井戸保健センター)
- 15:50-18:00 パネルディスカッション2「アジア各国震災後の公衆衛生復興の経験」
座長：押谷仁 (東北大学大学院医学系研究科)
1. カンボジアにおける洪水対策・洪水対応
Dr. Khoun Eng Mony (カンボジア保健省)
 2. 5・12 中国四川大地震の公衆衛生の復興
Prof. Gu Linsheng (四川大学-香港理工大学災害復興管理学院)
 3. アチェにおける津波後の公衆衛生の復興
Prof. Idrus A. Paturusi (インドネシアハサヌディン大学)
 4. 保健セクターにおける災害への準備、対応、及び復興 モンゴル
Dr. Bayarmaa Chinbaatar (モンゴル保健省)
 5. 復興 “問題点と懸念事項”
Dr. Jaime Salloman Bernadas (フィリピン東ビサヤ地域)
 6. タイにおける災害後の公衆衛生の復興 (津波 2004)
Dr. Wiwat Seetamanotch (タイ、プーケット行政区)
- 18:00-20:00 意見交換会

■ 2日目 (3月8日 (金))

8:30-9:00 開場・受付

9:00-11:00 パネルディスカッション3「震災復興時の公衆衛生活動における保健師の役割」
座長：平野かよ子（東北大学大学院医学系研究科）

1. インドネシアにおける災害後の復興管理と地域保健師の役割
Prof. Achir Yani Hamid（インドネシア大学）
2. SARS から得た教訓：災害復興に対するコミュニティの基盤強化における保健師の役割
Prof. Samantha Pang（香港大学理工学看護学部）
3. 福島県の震災・原発事故災害と保健師活動
黒田裕子（福島県立総合衛生学院）
4. 宮城県の公衆衛生活動における保健師の役割
末永カツ子（東北大学大学院医学系研究科）
5. 被災地の保健活動：牡鹿総合支所での取り組みから
遠藤照美（石巻市）

11:00-12:00 総合討論
座長：押谷仁（東北大学大学院医学系研究科）
パネリスト：Dr. Art Pesigan（WHO 神戸センター）
Dr. Ferdinal Fernando（ASEAN 事務局）
平野 かよ子（東北大学大学院医学系研究科）

12:00 閉会

12:00-13:00 昼食